

令和5年度 第6回朝日スーパーライン写真コンテスト 入賞作品一覧

【会長賞】

石崎 幸宏(東田川郡庄内町)「晴れ間を彩る」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

遠くまで見渡せる山、木々の多彩なグラデーション。手前の水面に雲と青空が映り赤から青まで一体何色でこの風景は出来ているのだろう。

欲を言えば、もう少し水面の空が見たくなります。

【副会長賞】

齋藤 勝美(山形市)「遅い春」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

逆光で浮かび上がったピンクが圧倒的に目に飛び込んできます。場所の選定が良かった。アングル、レンズを変えたりして、毎年、楽しみたい被写体です。

【優秀賞】

荒木 伸彌(東田川郡庄内町)「水没林でボート遊び」(撮影:鶴岡市大鳥地内)



【審査員講評】

水没林とボート遊びは他にも2点ありました。この作品は人物とボートを大きく扱い、ぶつかりそうな緊張感のある画面を評価しました。

【入選】

遠山 勝行(村上市)「紅葉渡り」(撮影:村上市岩崩地内)

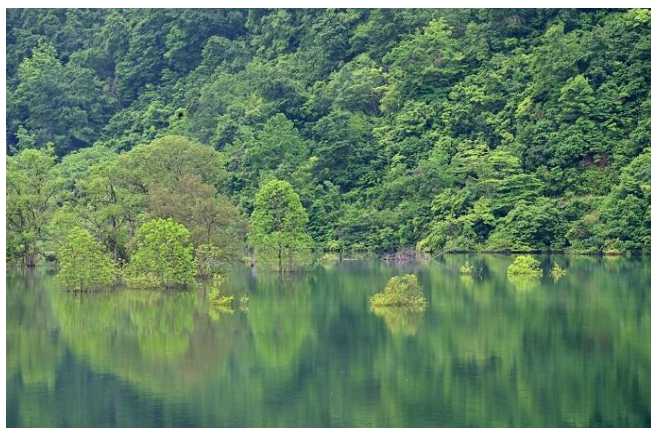


【審査員講評】

湖面に遊歩道。他にはお目にかかれない観光地だと思います。背景の紅葉が日にあたり、橋との露出差が出て色が飛んだのが残念です。上位を狙える作品です。

【入選】

齋藤 新一(鶴岡市)「水没林」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

新緑が湖面に映り込みしっとりした空気感。狙いは大変良かったのですが、この作品も仕上げの色が浅いのが気になりました。プリントの仕上げで損した感じです。

【入選】

三浦 一喜(鶴岡市)「霧の水没林」(撮影:鶴岡市大鳥地内)



【審査員講評】

タイトルが霧の水没林となっていますが、奥の方に霧が漂っていますが弱い印象となりました。望遠があれば霧に迫ったほうが良かった気がします。